

～マツタケ発生・生育適地の 土壌学的特性～

環境土壌学研究室 河方 敏志

マツタケについて



- キシメジ属の菌根性のキノコ。
- 日本列島・朝鮮半島・中国・台湾での発生が認められている。
- マツ目が優占的に生育していることが絶対条件。
- 鈳質土壤中(A層・B層・C層)に菌糸体「しろ」を形成。
- 発生のメカニズムなどについては明らかにされていない。

マツタケ発生適地

- 乾燥し、養分と腐植の少ない土を好む。
- 花崗岩・砂岩・粘板岩・礫岩の地質において発生しやすい。
- 土壌型では、乾性褐色森林土・未熟土・赤色土亜群などが適地。
- 尾根筋や山腹上部などの腐植が少なく、乾燥気味の明るい色の土を好む。

発生適地内においてもマツタケの発生する場所と

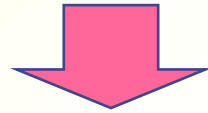
発生しない場所がある。

その要因については謎



もう1つの背景として

- マツタケと土壌に関する研究はあまり行われていない。



その理由として以下の要因が考えられる。

1. マツタケ発生に関しての条件が厳しく、貴重であることから研究が行われにくい。



特に土壌分析(土壌採取)や土壌断面調査はマツタケの菌糸体を破壊してしまうので嫌厭される。

2. マツタケの研究に関して行う研究者はほとんどが菌根学者であり、菌根学的視点からの研究なため土壌に関しては深いところまでは行われていない。
3. 私的財産獲得のため公表しない。

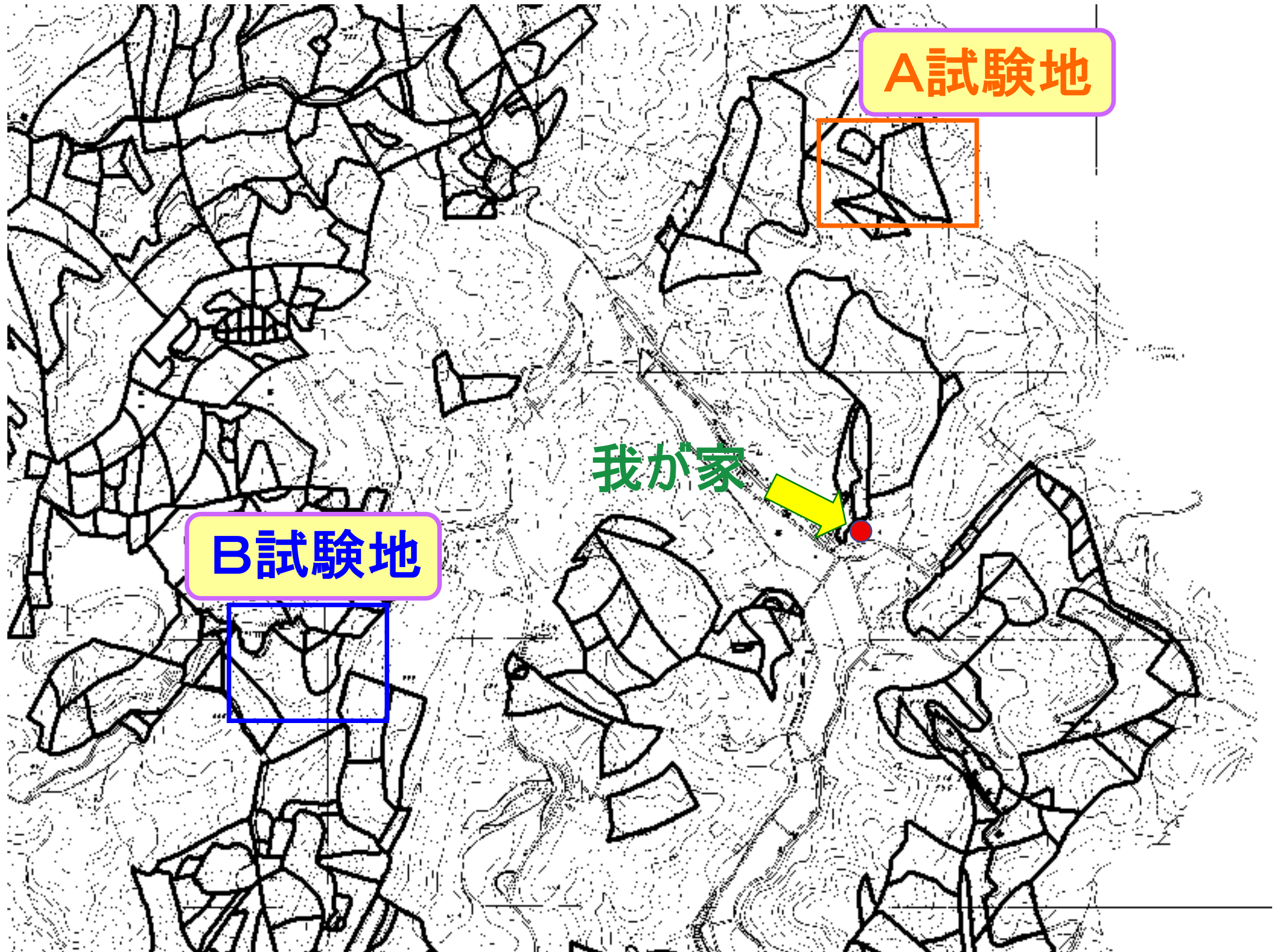
A試験地



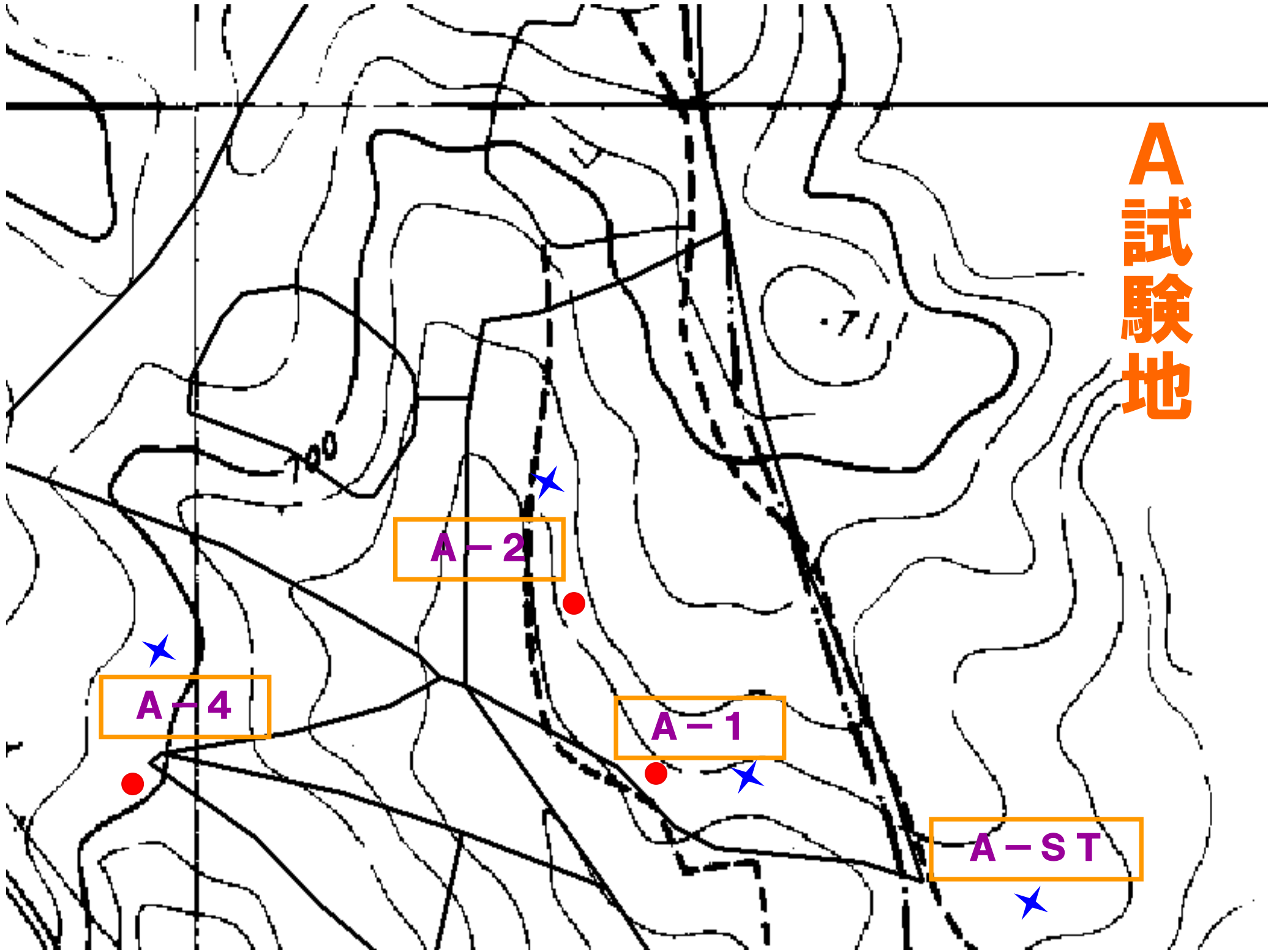
我が家



B試験地



A 試験地



5.6

695

B-2



B-3



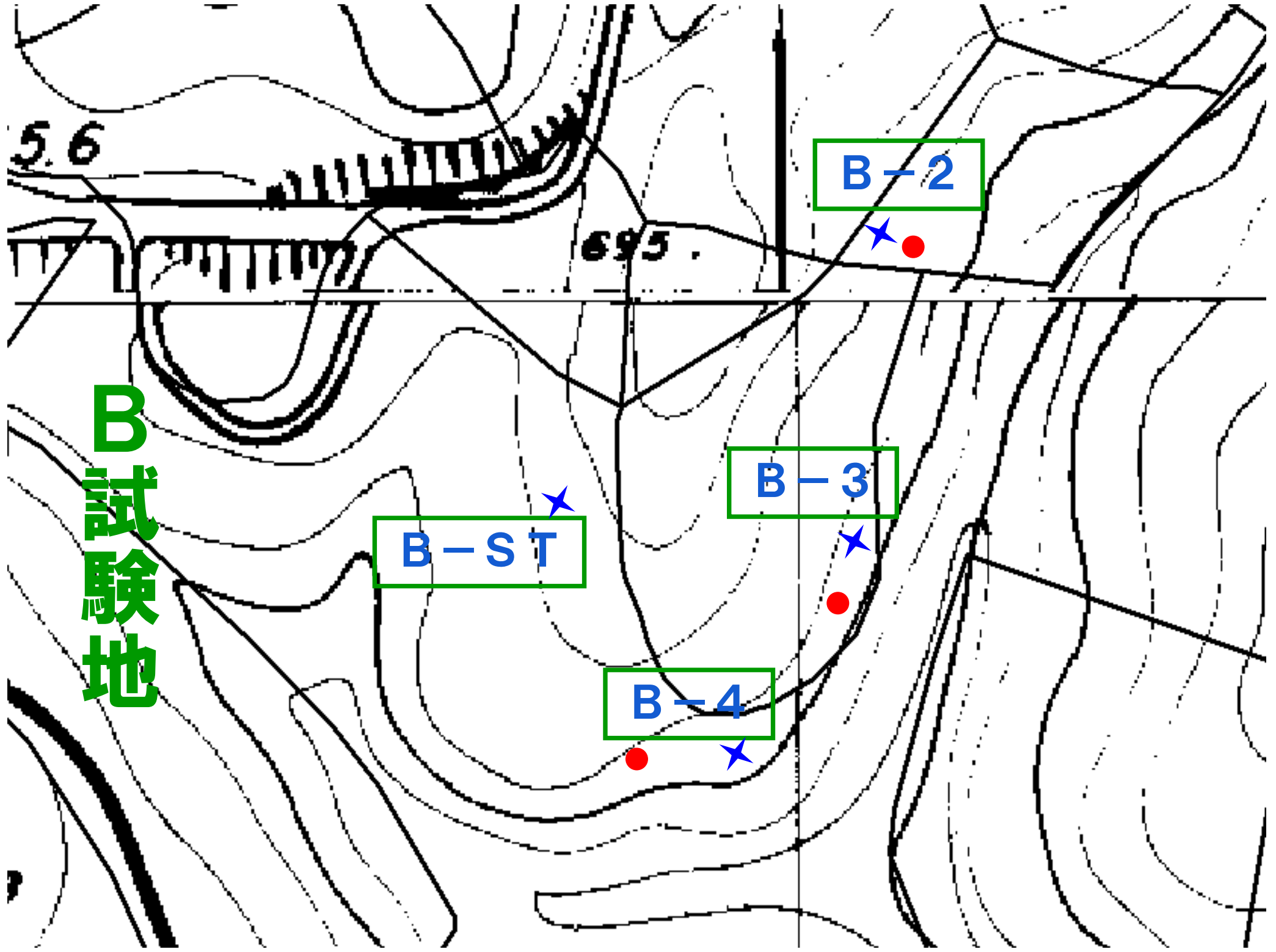
B-ST



B-4



B
試
験
地



土壤断面写真 (B試験地)

B-2+



B-2-



B-3+



B-3-



B-4+



B-4-

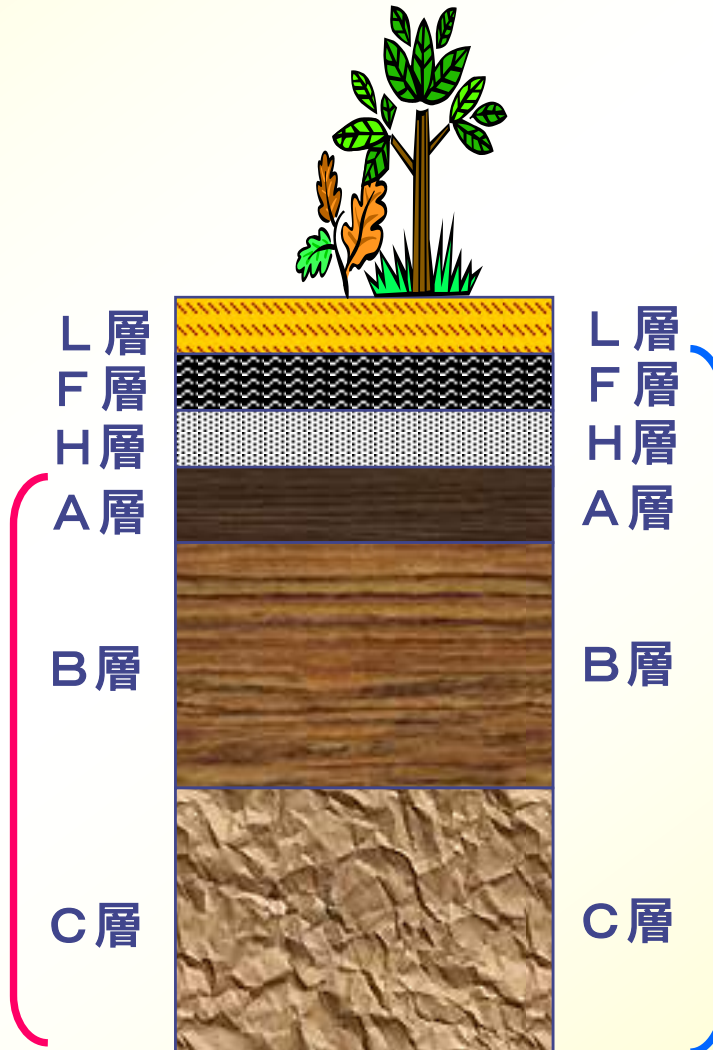


B-ST



分析項目

- レキ含有率
- 置換酸度
- KCl抽出Al
- 全炭素、全窒素
- CEC
- 交換性Ca·Mg·K·Na
- H₂O抽出
- Al·Ca·Mg·K·Na
- Fe·Mn·Cu



- pH(H₂O)
- pH(KCl)
- EC
- 現地水分量